

社員への気づきの誘導と、事業承継に向けた方向性の整合

社員へ課題感の整理と解決策の検討を促すために活用。また、今後の目指す方向性を次期社長から現社長（実父）へ説明を作成されたシートを用い実施

◆作成プロセス

STEP1：書き出す

- ・これまでの事業を整理する
- ・これからの課題を洗い出す

STEP2：ディスカッションする

- ・社内担当者と、課題感の整理整頓および解決策の検討を実施

STEP3：シートを記載する

- ・ディスカッション結果をふまえシートをブラッシュアップする



作成関係者：次期経営者

経営デザインシートを活用した感想・効果

- ・【気づきの誘導】作業担当社員と共に課題感の整理整頓と解決策を検討する中で、これまでの仕組みを大きく変えないと、現状は変わらないことを認識させ、社員たちから「AI・ICTの活用」という意見や、『人不足の時代において、お客様重視はもちろん重要だが、「ESの上でのCS」を実現したい』という想いを引き出すことができた。
- ・【一覧性による焦点の絞り込み・説明の簡略化】社内では社長と社員という立場を取っているが、2人で話すときは良くも・悪くも『親子』が出てしまい議論が脱線することがある。一枚のシートを目前に議論したことで、焦点を絞り込み、自社の現状としては突飛な「機械の自動化」というアイデアも比較的スムーズに受け入れられた。